

# ノーサイド

東ティモールは、6月22日、62歳の元前大統領・元国軍司令官のタウル・マタン・ルアク氏が新首相に就任。これから5年政権を担います。

今年72歳になった国父グスマン氏は、新設の「筆頭上級國務大臣兼首相顧問大臣」に。閣内にあって首相・閣僚を強力に支えます。

アジアで一番新しい平均年齢18歳の若い国、2002年5月の独立回復から16年目を迎えた東ティモール。民主国家・平和国家として国づくりの真っ只中ですが、懸案は山積です。

急務は、教育・人材育成と基礎インフラの整備。そして所謂「資源の呪い」に陥ることのないよう自国産業を振興し、沢山の若者の雇用も確保して行かなければなりません。格差の拡大が指摘

される地方の皆さんの生活環境の改善は待たなし。国民が、独立して良かったなあと思えるような国にしなければなりません。

そしてグスマン氏が驚異的なリーダーシップと政治力・交渉力を発揮して、東ティモールに多大な成果をもたらしたオーストラリアとの間のグレイターサンラ

イスカス田に関わる海の国境線画定。今後は、同ガス田の具体的な開発的 な開拓をどうするか、オーストラリアとの間でどう決着させて行くか。莫大な予算を要する大型プロジェクトだけに、グスマン氏とルアク氏

## 頑張れ！東ティモールの新政権

### 北原巖男

な、いわばASEAN加盟を先取りした、時宜を失した支障の仕方があると思

か、グスマン氏とルアク氏の間での周到な調整が力

な、いわばASEAN加盟を先取りした、時宜を失した支障の仕方があると思

な、いわばASEAN加盟を先取りした、時宜を失した支障の仕方があると思

て防衛大学校に留學生として送り込んだときの国

軍司令官は、ルアク氏以降、今年3月までに8

名の東ティモール留學生が卒業し、若手将校として頑張っています。現在、9名が在学中です。能力構築支援、パシフィック

またルアク氏は、全国442の村々全てを自らの足で訪問し、住民と懇

見交換・生活環境の実態把握に努めて来ました。

またルアク氏は、全国442の村々全てを自らの足で訪問し、住民と懇

見交換・生活環境の実態把握に努めて来ました。

北原 巖男

(きたはらいわお)

中央大学。70歳。長野県伊那市高遠町出身。元防衛施設庁長官。元東ティモール大使。現(一社)日本東ティモール協会会長